

VOL.66

2009

SUMMER

川崎いのちの電話

Kawasaki inochi no denwa

ひとりで悩まずに ☎ **044-733-4343**



CONTENTS

特集 家族の絆

ドメスティック バイオレンス(DV)
～DVをしてしまった男性たちからのメッセージ～

山口 のり子氏 DV加害者プログラム実施団体 アウェア代表

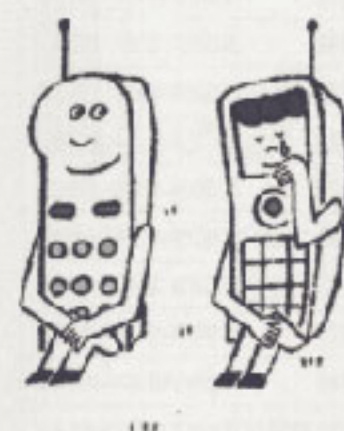
相談員リレーエッセイ

「Herb Tea」ハーブティー

インフォメーション

チャリティー寄席「柳家権太楼独演会」再演のお知らせ
資金ボランティア募集

あなたがつらいとき、近くにいます。



毎月10日は、フリーダイヤル

0120-738-556

毎月10日 8:00～翌日8:00
(24時間・無料です)

2009年4月10日～2010年3月10日

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。

自殺予防 いのちの電話

社会福祉法人 川崎いのちの電話

特 集

家族の絆

ドメスティック バイオレンス(DV)

DVをしてしまった男性たちからのメッセージ

はじめに

2001年に議員立法で制定された、いわゆるDV防止法(注1)は、DVを犯罪になる行為と位置付けているものの、被害者が一方的に逃げることを支援する法律で、加害者を処罰し更生させる仕組みにはなっていません。

アウェア(aware)は、DV防止活動の一環として、DV加害者が更生するためのプログラム(注2)を実施している民間機関です。加害者が自分の暴力に気づくとはどういうことでしょうか、そして、更生するには何が必要なのでしょう。アウェア主催のDV防止教育講座「DVをしてしまった男性たちからのメッセージ」で発表された男性たちの証言を紹介します。

(注1)「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」2001年制定、2004年と2007年に改正。

(注2)アウェアが2002年から実施している活動。治療ではなくカウンセリングでもなく、グループで話し合うセミナーで構成。週1回の出席義務、52週で1サイクル終了。

DVの根っこにあるもの

「私は男らしさのヨロイを身につけて、仕事は家族のためにしているのだから、家庭で男である私のする行動には、常に正当性があると思っていました。妻への身体的暴力は3か月に1回のサイクルで、暴力の後は反省するのですが、しばらくするとまた暴力をふるっていました。女性を軽視していたので、妻の意見は聞きませんでした。自分の思い通りにいかないと威嚇し、例えば子どもが泣くのは妻のせいだと責任転嫁もしていました。経済的には貯金をしてないという理由で家

計の管理を取り上げ、妻には最小限のお金しか渡しませんでした。人格否定などで精神的に苦しめてもDVではないと矮小化していました」

「私の場合は自分を守ることだけ考えていました。家では規則を作りました。本当は私が決めた規則でしたが、家族で決めた規則なのだからといって、規則を守らないと怒りました。妻は家出する2～3年前から、このままでは一緒に暮らせないと訴えていました。それに対し、愛しているのになぜ一緒に暮らせないのか、浮気をしているせいではと妻の携帯を壊すこともしましたが、実際は愛していたのではなく、自分に都合の良い生活を失いたくないということだったと思います」

加害者プログラムに参加して気づいたこと

「私は、妻にしてきたことすべてがDVだったと初めて気がつきました。暴力と謝罪を繰り返して妻に恐怖感、絶望感を与え、妻から幼い子どもを取り上げて家を追い出そうとしたりすることで、心をズタズタにし、何も感じない状態にしてしまったのだと気づきました。我が子にも、緊張感とともに子ども同士で暴力をふるっても良いということを教えてしまいました。別居した後の子どもの写真は穏やかな笑顔になっていました。

DVの責任が全部自分にあることを自覚してから、怒りで身体が熱くなったりする暴力の予兆を感じたら、トイレに行く、水を飲むなどをして、自分が悪いと言い聞かせ、クールダウンを習慣づけるようにしています」

信頼できる家族と一緒に、安全にかつ安心してくつろげる生活の場が私達の家庭。そのなかで虐待にあった子ども達やDV被害者の記事が報道されるたびに胸が痛み、やりきれない悲しみにさいなまれる日のなんと多いことでしょう。川崎いのちの電話でもDV被害に気づき、半ば迷いつつも、今後の生き方を模索する声が聞こえるようになりました。被害者が身体や心に傷を受けながら加害者と暮らす不幸な状況を変え、家族の絆を回復する方法はないのでしょうか。

「僕は『誤った夫婦観』に気づきました。従来は、夫は家長で、妻子は家来と思っていましたから、例えば入浴後バスタオルが出ていないと怒りました。物理的に自分で手の届く棚に置いてあるのに、妻が出しているか否かがポイントだったのです。

また、自己顕示欲が強く妻への特権意識があることにも気づきました。しかし、気づくと葛藤が生まれてきます。身近な行動パターンにそれが出ます。テレビで妻の権利を主張する人を見た時『この女性はなんていうヤツだ、けしからん』という思いが出てくるのです。DVとつながる意識だと気づき反省するのですが、なかなか変わりません。元々の自分と反省する自分とが同居していて、それが葛藤になっています」

パートナーとの現在のかかわり

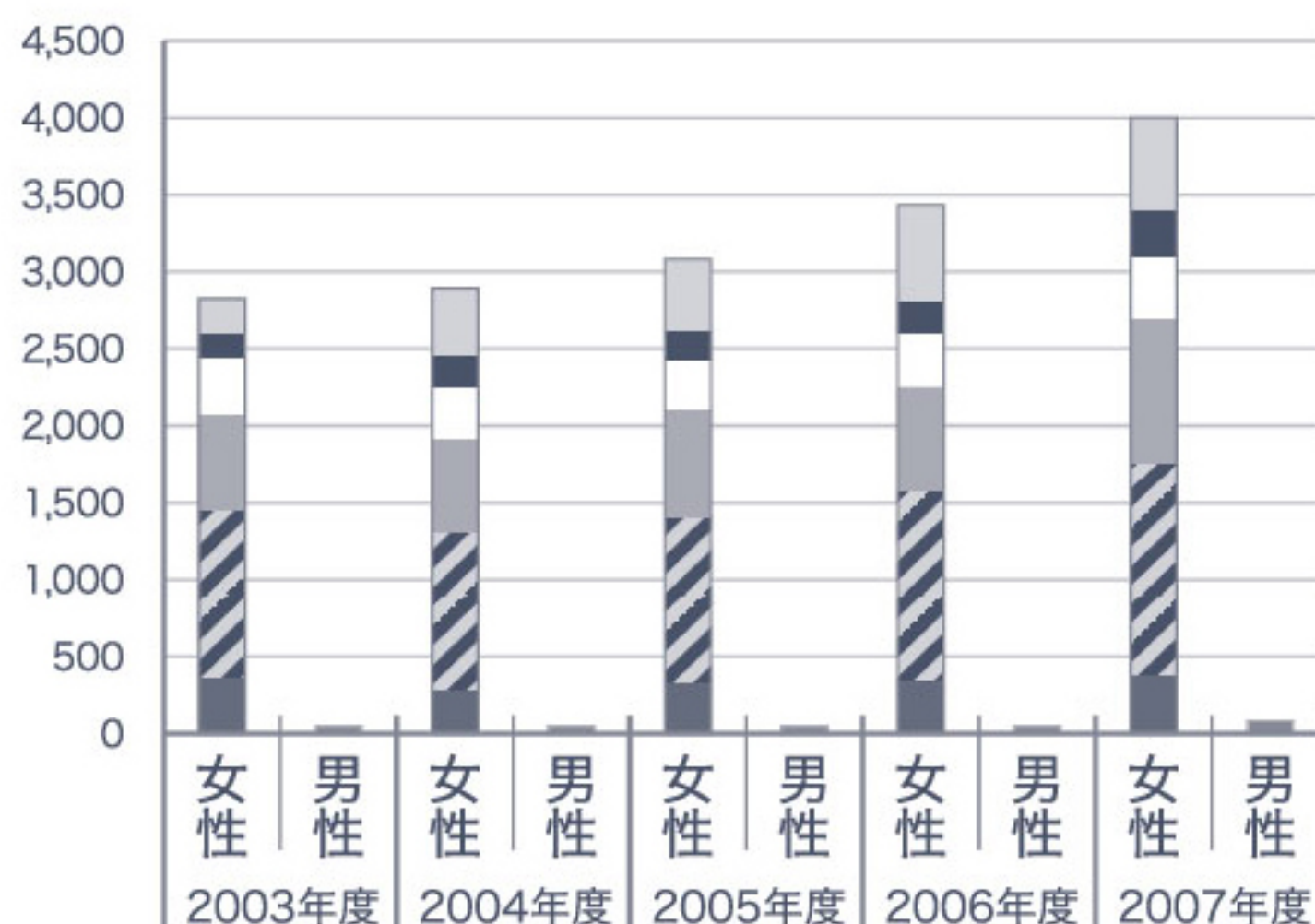
「妻からの次の提案を全部受け入れて、まだ不安はあるものの、同居することになりました。

①同居後にDVしたら離婚する ②同居は1年ごとの更新 ③家事や家計の切り盛りは妻に委ねる ④威嚇する物言いや機嫌悪そうな態度をやめる

⑤こうあるべきという考えを捨てる」

「加害者プログラムに参加して3か月で妻の許しがあり、同居できたのですが、その後離婚しました。アウェアで『同居は失敗できない生活の連続だから3か月ではまだ無理』と言われても、どういうことか分かりませんでした。同居して分かりました。心に傷を負っている家族との同居は気遣うことが多すぎて家にいるのが厭になり、別の女性に逃げてしまったのです。私の浮気が離婚の最大の原因です。今、別れた妻と子にしてやれることは、毎月の養育費を口座に振り込むことだけです」

「2年前離婚した元妻とは時々連絡を取り合い、2人の子ども達と会うのは1か月に1回の約束でしたが、今は毎週でも会えるようになっていきます。先日、元妻からのメールの中に『DVの専門のことは分からないけど、あなたは確実に変わった』という文面があり、とても嬉しく感じました。しかし、手放しで喜ぶのではなく、離婚し距離を保って生活する中でのメールと自戒しています」



DVに関する相談件数の推移 神奈川県(2003~2007年)

配偶者暴力相談支援センターの相談件数をみると、年々件数は増加し、相談者はほとんどが女性である。年代別では30歳代と40歳代女性の相談件数が多い。40歳代の相談件数が2003年の605件から2007年には959件に、60歳以上の相談件数が181件から287件に、ともに約1.6倍増加している。

出所: 県人権男女共同参画課調べ

講座を主宰したアウェア代表・山口のり子さん (DV加害者プログラム・ファシリテーター)のメッセージ

■DVは価値観の違いです。他人にやっていけないことを妻にはやって良いと思っていることです。DVの根源である「力と支配」の価値観は、日本の社会に充ち満ちています。

■加害者を変化に向かわせる唯一のものは、パートナーからの突きつけ、つまり、変わらなければ妻を失う、家族を失う、と思わせることです。「DV加害者プログラムに参加して」などの説得やお願いで変わるものではありません。

■突きつける方法で有効なのは別居です。それも出来るだけ長く、その間被害者の方は自分の回復や子どものことだけ考えて下さい。健康と生きる力を取り戻せるからです。

■加害者が自分を変える努力をすることは、自分の価値観が間違っていたことを認めることです。大変苦しいことです。一人では出来ません。そのためにグループで助け合いながら行います。自分のことは分からなくても他人のことはよく分かるものです。

■加害者プログラムは、加害者に「パートナーと社会に迷惑をかけた」責任をとって貰うためのものです。加害者プログラムの存在が、DVをしている人たちへ責任を取って変わって下さいというメッセージになるのです。



山口 のり子さん
(やまぐち のりこ)

女男平等・共同参画社会
クリエイター

アメリカで臨床心理を学び、またDV加害者プログラムのファシリテーター向けトレーニングを修了。帰国後2002年にアウェアを開設しDV加害者プログラムを始める。2003年デートDV防止教育を開始。そのファシリテーター養成も。

アウェア(aware)は、自分の暴力に気づき「暴力のサイクル」を絶つためのプログラムを実施している、日本の代表的な民間機関です。

Tel: (03)3292-5508 ホームページ: <http://www.aware.cn>

良いDV加害者プログラムとは

(アウェアのホームページから転載)

- 1) 主な目的がDV被害者を助けること
- 2) DV加害者がプログラムに入り次第、DV被害者に連絡をとり、彼の暴力の歴史を聞いたり、支援の情報を提供したりすること
- 3) 真の変化をとげる人は少ないことをDV被害者に伝えること。中には参加して悪化する人もいとDV被害者に警告すること
- 4) プログラムで彼が守らなければならないことをDV被害者に伝えること
- 5) グループでテーマとして取り上げることをDV被害者に説明すること
- 6) プログラムに参加しているかどうか、参加態度やDV被害者についてどのような発言をしているかなど、DV被害者が望めば教えること
- 7) プログラムのほとんどの時間を、DV加害者の考え方と言動に関する話し合いに費やすこと
- 8) 期間が1年以上であること

(“WHY DOES HE DO THAT” Lundy Bancroft著より)



ハーブティー

Herb Tea

相談員のリレー エッセイ

何年経っても

先日、小さな旅行に出かけた。限られた日数を共有する出会いのグループ旅行と思っていた。最近の私は、若い頃と違い心のどこかで、ブレーキが掛かってしまう守りの生活を感じている。それでも旅行は、日常生活を離れ、変化を期待して、新しい顔と新しい名前を記憶して、交流が始まる。

この旅の始まり、夫が「こちら〇〇さんと〇〇さん」と私に紹介した。「えっ」私は、顔の強張りを感じ、頭の中が真っ白になるほど驚いて、挨拶を交わした。内心、会社関係の方々か？旧知の知人か？こんな偶然があるのかと想像し、これから先の楽しいであろう旅の気分が、急速に萎んでしまった。部屋に着くまで、どんな会話をし、どんな顔をしていたかまったく覚えていない。

部屋に入り真っ先に「〇〇さんと〇〇さんは、どういうお知り合い？」尋ねた。夫は、「この旅行の二組の方々。ちょっと酒を酌み交わし

自己紹介した」と言う。私は、二度目の「えっ」が思わず大きな声で出てしまった。緊張の後の安堵感と、夫の新しい面を知り、翌日からの旅の楽しさが増してくるよう感じた。新しい出会いが作られ、心が弾んで思いがけない感覚を味わうことが出来た。あの緊張があった為か、それぞれの人柄の為か、旅行中、笑顔と笑い声が弾けていた。

そして、一カ月後、偶然の出会いから交流が生まれている。『心のブレーキ』は、私の長年の『心の錆』かなと思っている。笑顔と笑い声が潤滑油になってくれたようだ。若い頃と違ってなどと年のせいにしてはいけませんね。

『自己開示』『一期一会』、訓練されたはずなのに、『心の錆』を恥ずかしく思います。まだまだ、相談員から離れられない訳がありました。

(横浜市 百花繚乱)

今回のハーブ辞典

レモングラス

さわやかなレモンの香りのハーブ。料理やデザート、アロマテラピーなど幅広く使われる。特にハーブティーでは疲労回復、消化促進作用があり、発汗や殺菌の効果があるので風邪やインフルエンザの症状改善にも利用できる。



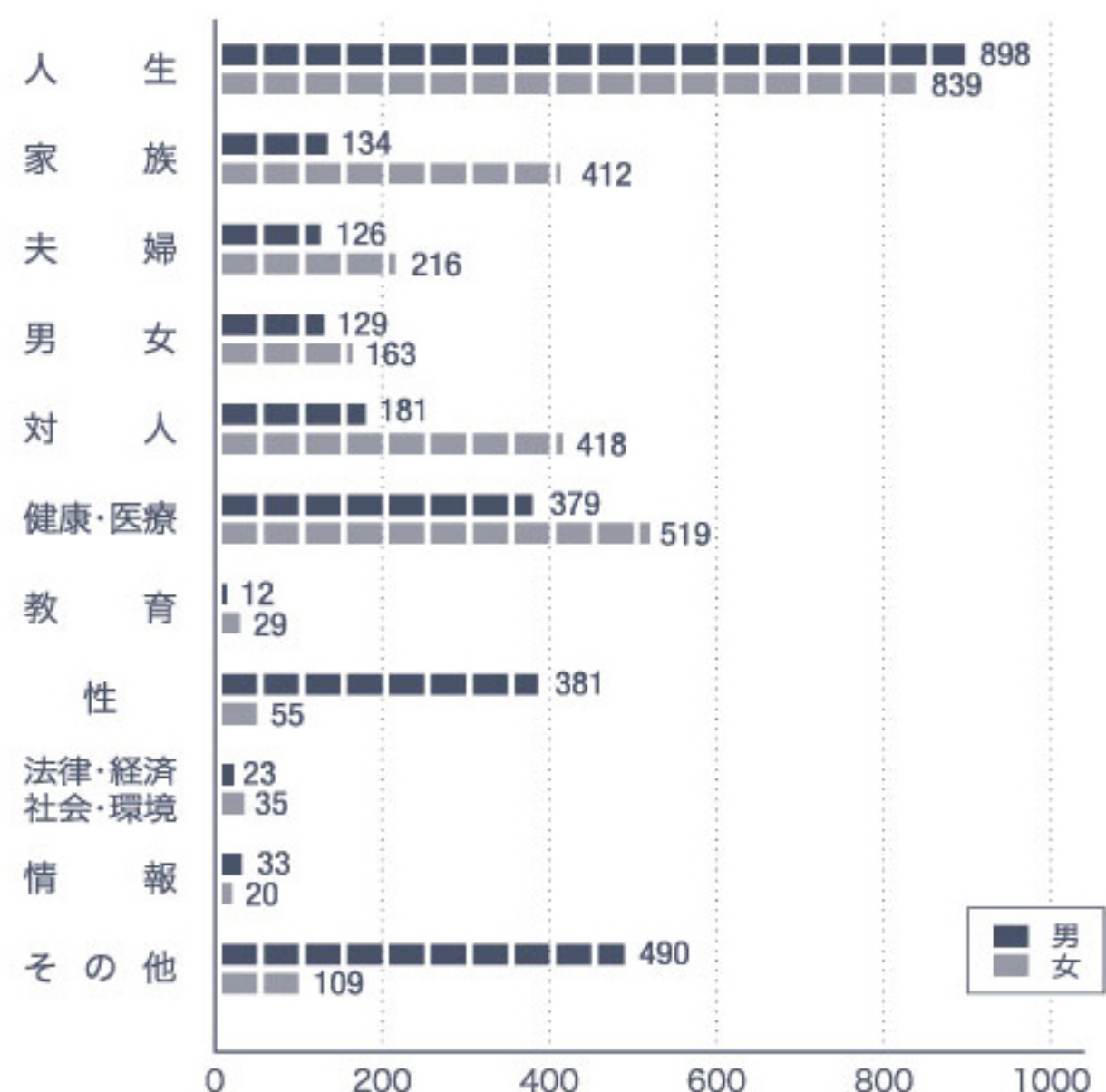
受信状況 2009年1月～4月

総受信数 **6,698 件** (1日平均 55.8件)相談数 **5,002 件** (1日平均 41.7件)自殺志向 **480 件**

若年層にひろがる自殺

警察庁が昨年1年間に全国で自殺した32,249人の年齢や動機などを発表した。30歳代の自殺者が増加したのが特徴でうつ病以外に、就職や仕事の失敗、職場の人間関係などが大きな原因にあげられている。いのちの電話の30歳代の相談者からも、職場環境に起因するメンタルヘルスの不調の訴えは増えている。社会の不満を口にしながらも、やりがいのある仕事を求める一方、景気の悪化で厳しい現実には置かれている姿が浮かび上がっている。

内容別・性別受信状況 (2009年1月～4月)



インフォメーション

川崎いのちの電話主催

新春チャリティー寄席「柳家権太楼独演会」再演決定！

1月に行われましたチャリティー寄席が好評だったため再演が決定いたしました。新春の初笑いをお見逃しなく！

- 【日時】 2010年1月9日(土) 開演 13:30
【会場】 高津市民館 マルイファミリー12階
JR南武線「武蔵溝ノ口」、東急田園都市線「溝の口」下車すぐ
【料金】 3,000円 全席自由(未就学のお子様はご遠慮ください)
【振込先】 郵便振替口座 川崎いのちの電話事業推進委員会
NO. 00200-1-130682
(振込確認後チケット郵送)
【問合せ】 川崎いのちの電話事務局(月～金 10:00～17:00)
TEL:044-434-0253



柳家 権太楼

昭和45年 明治学院大学法学部卒業
故柳家つばめ入門、前座名「ほたる」
49年 師匠他界により柳家小さん門下となる
50年 ニッ目昇進「柳家さん光」と改名
57年 真打ち昇進、三代目「柳家権太楼」襲名

資金ボランティアとしてのご支援を！

川崎いのちの電話の活動は皆様の資金援助によって運営されています。多くの方々にご協力をいただきますようお願いいたします。

【1】賛助会員年会費 下記からお選びください。

法人	10万円	5万円	3万円	1万円	
個人	5万円	3万円	1万円	5千円	3千円

【2】一般寄付 (金額、回数は自由です。)

【振込先】 ■郵便振替 00240-2-36798
社会福祉法人川崎いのちの電話

■他金融機関からの振り込み受け取り口座
《店名》 〇二八 (読み ゼロ二八チ)
《店番》 〇二八
《預金種目》 普通預金
《口座番号》 4078266

*賛助会員・一般寄付金ともに、個人の所得税・住民税・相続税(要確定申告)および法人の法人税において、優遇措置の対象となります。

寄付感謝報告

2009年2月～
2009年5月

川崎いのちの電話のために、温かい資金援助をいただきました。心から感謝し、ご報告いたします。この事業の発展にこれからもご協力くださいますようお願い申し上げます。

【個人】		鈴木 敏江		渡辺 三男		平山 暁子		富田 美津子		小島 良子		石川 俊恵		(5月)	
(2月)		酒井明・靖恵		常松 恭子		野瀬 亨		宇田川雄弘		匿名4名		吉澤孝彦		松本純子	
原 勝代		鈴木利朗		平井智子		宮下貞子		山鹿文子		近藤俊朗		鈴木清		中島泰己	
浜井慶子		上嶋良子		前田絢子		岡田幸雄・栄子		広島晴美		(4月)		片山世紀雄		飯河雅孝	
戸張道也		小野岩雄		金子圭賢		布施喜作		内藤英俊		上野千鶴子		富田美津子		水野明	
松浦洋子		渡辺萬里子		榎本瑠美子		倉田隆常		岡田良子		戸張道也		小泉伸之		中里君江	
城野攻一		小林勝		中村泰夫・文子		石川俊恵		城野攻一		勝島聡一郎		佐藤美津子		糸山恵美子	
森 清		エドワード・ジョスト・スキー		久保宗義		豊田君子		府川 宏		和田義盛		西村治人		檜崎幸子	
高橋勉		宮原信子		五十嵐みつこ		徳増信義		片山世紀雄		山本武		斎藤正		石塚勝	
匿名2名		有馬純子		村上カズコ		藤嶋とみ子		林伸郎		時光明		村越法子		匿名1名	
近藤俊朗		石原淳子		青木久栄		横山妙子		榎本瑠美子		山田通代		匿名1名		近藤俊朗	
(3月)		檜垣たか子		中村カツ子		貝谷美代子		千田智子		城野攻一		近藤俊朗			

【法人及び各種団体等】 大師新生幼稚園 横浜指路教会 (株)富士ゼロックス神奈川 富士ゼロックス神奈川端数倶楽部 捜真女学校中学部
カリタス学園同窓会 元奉仕部企画有志 ケベックカリタス修道女会 (有)すし勘 (株)東洋ロザイ 日本キリスト教団神奈川教区・川崎鶴見地区委員会
ゆうからクラブ 新ゆり製作部 共同購入

【10万円以上の個人・法人及び各種団体等】 川崎興ライオンズクラブ(10万) 川崎白百合ライオンズクラブ(10万)
川崎いのちの電話・製作部(30万)

合計 1,646,460円

編集後記

DVの加害者はパートナーの空間と時間を支配する。パートナーは加害者に見張られ、命令され、罵倒される感覚を常に持つようになり、そこから逃げられない無力感と諦めのなかにいる。加害者プログラムの存在をもっと日本中に知らせること、そして最低でも各都道府県に設置することを国のDV防止策の柱のひとつとする必要があると強く感じた。(S)

30年来のファンであったロック歌手が癌で亡くなった。十代の頃から、彼の歌、スタイル、生き方すべてが大好きだった。彼に出会っていなかったら、確実に違う自分であっただろうとさえ感じる。葬儀には全国から大勢の人が参列し、ブログには追悼の文が有名無名を問わず数多くアップされている。早すぎる別れに、涙がとまらない。みんな、愛しあってるかい！(N)